菊池市立菊池北中学校　学校だより　No.23
2026.10.30　文責　岩谷　寛

# 生きる

## 菊心祭に向けて
## 課題探究コース始動！




### 令和8年度（2026年度）菊池市立菊池北中学校　総合的な学習の時間　課題探究学習〈コース別学習〉

**総合的な学習の時間の目標**

探究的な見方・考え方を働かせ、「いのち」や「郷土」等に関わる総合的な学習の時間を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決し、学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1)「いのち」や「郷土」等に関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の課題やよさ、命の大切さに気付かせる。

(2)「いのち」や「郷土」等に関する学習の中で出てきた課題に対して、その解決に向け、主体的に考え行動する力を身に付けるとともに、分かったこと、考えたことをまとめ、将来の展望をもって表現する力を身に付ける。

(3)「いのち」や「郷土」等に関する学習に主体的・協働的に取り組むとともに、将来の展望を見据えた中で、意欲的・積極的に取り組もうとする態度を育てる。

**□課題探究コース及び学習内容【菊心祭で発表】**

| | コース名 | 人数 | 部門 | 担当職員 | 学習内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 総合的な学習発表（ハンセン病・水俣病） | 10 | ステージ | ☆関 本並 | 1年生と3年生で構成し、人権学習で学んだ「水俣病」や「ハンセン病」について、スライドでわかりやすくまとめたり、構成詩として表現するなど、自分たちが学んできたことをより分かりやすく発表します。特に、現地で学んできたことをしっかりと伝えます。 |
| ② | 総合的な学習発表（職場体験） | 7 | ステージ | ☆古田 荒木（古賀） | 2年生で構成し、職場体験学習で学んだことをスライドでわかりやすくまとめたり、寸劇として表現します。北中生徒の夢を広げるきっかけになればと考えています。 |
| ③ | 映像発表 | 21 | ステージ | ☆古賀 久恒 | 北中生が記者となり、北中や菊池の魅力を取材して発信するニュース番組を制作します。故郷の自然や文化、歴史など、菊池の素晴らしさを映像とともに届けたり、北中由来調査や菊心祭当日インタビューなども考えています。 |
| ④ | 演劇 | 31 | ステージ | ☆西村 緒方 校長 | 郷土「菊池」の歴史として菊池一族にスポットをあてた演劇に挑戦します。菊池一族が貫いてきた生き様や誇りを体当たりで表現します。また、菊池一族と菊池北中との深いかかわりについても、学ぶことができればと考えています。 |
| ⑤ | 壁新聞 | 15 | 展示 | ☆松本（本並）平山 | 菊池一族と北中の関係、北中の歴史、菊池市の歴史などのテーマを決めて壁新聞を作成します。地域のことや各学年で学んだことを生かして、学校の今日的課題などにも踏み込んでいきます。 |
| ⑥ | 作品制作（アート） | 26 | 展示 | ☆冨永 教頭 | 郷土「菊池」のシンボル「菊池一族」にちなんだものを、点描絵画やモザイクアートで表現します。作業は緻密で根気強さが求められます。 |

**□課題探究コース以外の発表**

ステージ発表

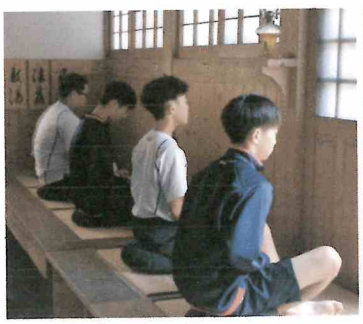
| | |
|---|---|
| ① | 生徒会オープニング |
| ② | 英語暗唱 |
| ③ | プラチナ未来人財育成塾の発表 |
| ④ | 租税学習発表 |

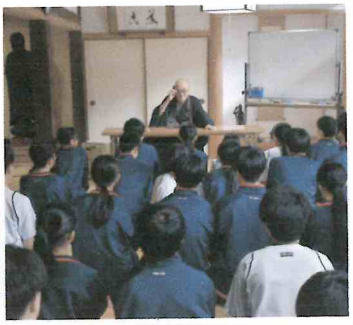
展示発表

| | |
|---|---|
| ① | 生徒会新聞 |
| ② | 美術作品 |
| ③ | 科学研究物展示会入賞作品 |
| ④ | 習字 |
| ⑤ | 私のおすすめbooks |
| ⑥ | 保健委員会 |
| ⑦ | 菊展示 |
| ⑧ | ゆうゆうバザー |

いよいよ、菊心祭に向けての取組がスタートしました。日程面においては、例年と変わらず、午前中が学習成果発表、そして午後が合唱コンクールになりますが、今年度大きく変わったところがあります。これまではそれぞれの学年でステージや展示の発表をしてきましたが今年度は、学年の垣根を越えて、完全縦割りでグループを構成し、それぞれのコースに分かれて、これまでの学習の成果をステージと展示の中で表現します。ここ数年北中では取り組んでいないことにも挑戦します。すでにコース別の学習はスタートしており、完成がとても楽しみです。総合的な学習の目標に「いのち」や「郷土」というキーワードがあります。菊心祭まで残された期間は短いですが、自分に与えられた場所で全力で取り組むことはもちろん、なかまと協力することや、時間を大切にすること、そして何よりも達成感を味わってもらいたいです。"感動"、"夢"、そして"いのち"いっぱいになる菊心祭をみんなの力でつくっていきましょう！！

## 二年生　聖護寺坐禅体験





28日(水)に、2年生が聖護寺で坐禅を体験してきました。鳳来公民館から細い山道を2km近く歩き、たどり着いた場所は、ひんやりと肌寒かったですが、厳格なたたずまいに、身の引きしまる思いがしました。

着いたらすぐにご住職の吉谷大憲様の法話を聞きました。子どもたちは真剣にご住職の話に耳を傾けていました。

その後、坐禅体験は約40分を二回行いました。事前に学習した「調身（身体を整える）」「調息（静かな呼吸）」「調心（精神を整える）」を意識しながら、時折警策（きょうさく）の音を聞きながら、静かな時が流れていきました。

静かな環境下で、子どもたちはとても貴重な経験をすることができました。いつもとは違う非日常的な経験ができたことは、大きな意味を持つと思います。

鳳儀山聖護寺（ほうぎざんしょうごじ）は、13代武重が土地を寄進して建立されたお寺です。曹洞宗の高僧である大智（だいち）禅師を招いて建てられた寺で、武重自身もここで熱心に修行し、一族の心の拠り所にもなっていました。武重が制定した『菊池家憲』の中にも、「仏教の正しい教えと共に一族の長い繁栄を願う」という意味の言葉があるように、戦乱の続く不安定な世の中にあって、聖護寺の教えは一族団結のための鍵（かすがい）として欠かせないものになりました。【聖護寺　菊池一族公式ウェブサイトより】